中規模オフィスビルの設備更新に 汎用性技術を導入し、普及型ZEBを実現

平成30年度省エネ大賞 資源エネルギー庁長官賞 (業務分野) ダイキン丁業株式会社 (オフィス) 2019年度産構審WG報告

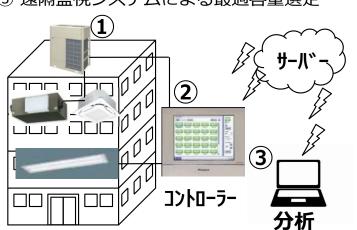
- ▶ 自社の中規模オフィスビル設備更新において、汎用性の高い省エネ技術を導入。
 - ①高効率ビル用マルチエアコン+デシカント外調機の潜熱顕熱分離空調システムで温度と湿度を個別 に制御
 - ②空調・換気・照明を一元管理可能な集中管理システムにより、エネルギー管理者不在の中小規模ビ ルにおいてもきめ細かく管理
 - ③既存空調機の運転状態を計測し分析した上で、最適容量の空調機を選定して更新
- ➤ さらにNeary ZEB相当の省エネを目指し、二重窓、太陽光発電システム、ZEBモニターを導入し更 なる省エネ化を実施。
- ➤ WEBPRO基準値に比べ、太陽光発電除きで61%減、太陽光発電込みで67%減となりZEB Readyを達成。

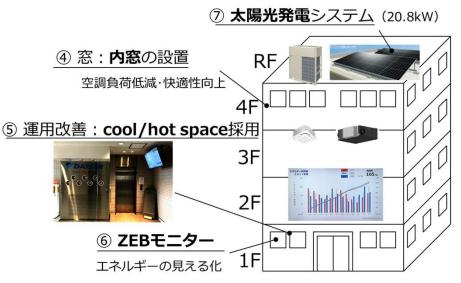
ダイキンのZEB更新の特徴

Nearly ZEBに向けた取組み

当該事例の効果

- ① 潜熱顕熱分離空調システム ② 空調・換気+照明一括制御
- ③ 遠隔監視システムによる最適容量選定





次エネルギー消費量 WEBPRO基準值比 **▲**67% (太陽光発電込み)